



ソウタオープンV3で永世獲得

雨の影響で予備日開催となった6月16日(日)、「第十八期練板オープン」は30度を超える暑さの中、板橋区立平和公園で行われ、決勝戦はソウタ対タイキローの対戦となり、3対1でソウタが圧勝した。3年前初参加で優勝した練板オープンは、ソウタにとって相性の良い大会なのだろうか。その後、昨年、今年と連続優勝し、今回が3回目の優勝ということで、永世オープンの称号を得た。毎回優勝者の替わるオープンで永世獲得は出色だ。



そなっち、ソウタ おめでとう！

タイキロー12年振りのオープンV2を逸す

当日加工の練板オープンは、ベーの出来不出来が結果に大きく影響する。「なかなか芯が合わないや」と嘆いていた松ちゃんは、予選で配給王となり、全体の33位で敢え無く予選敗退だ。バロンドールでもこの結果だから当日加工は怖い。その予選をクリアしたのが、上位からソウタ、初登場たかし、シュガー、マックス、鉄人後藤、ハルク、タイキロー、小出っち、初登場まつひろ、よしお、ゆうすけ、父平井、ギャオじい、そなっち、ちかパパ、しゅうの16名だ。女流がないのが少し寂しい。

野郎同士のぶつかり合いとなった決勝戦は、タイキローとソウタが飛ばす。タイキローはよしお、たかしにストレート勝ちし、そなっちを破り決勝戦へ。一方ソウタは、しゅう、小出っち、マックスを葬り、決勝戦に名乗りをあげる。実は、タイキローは12年前にこのタイトルを取っているのだ。当時、祭りに合わせ2日連続の大会で、初日優勝したタイキローが、二日目優勝のチョット今村との頂上決戦で、0-2から3連続勝ちの大逆転でタイトルを奪ったのだ。自分で擦ったやたら弾く35秒ベーで、小学5年生での快挙だった。あれから12年、ベーの芯は取れ、しかも相変わらず弾きがいい。タイキロー12年振りのタイトルに手が届くか。

しかし、そこに立ち上がったのがソウタだ。予選1位は伊達じゃない。ディフェンディングチャンピオンの風格さえある。そのソウタの気に威圧されたか、タイキローが床外しでまず1本。この床外し、



決勝ですと平常心ではいられなくなるのだ。逆にもうけもんで取った方は、こんなにうれしいことはない。気分もいいはずだ。その差が2本目に出たか、今度は飛ばしでソウタが取る。0-2で崖っぷちのタイキロー、だが12年前はここから3本連取したのだ。すると、今度はソウタがまさかの床外しだ。滅多にみられないソウタの床外し、やはりソウタでも、あと1本となると多少は手元が狂うのか。さあ、ここからが本当の勝負、観衆が固唾を呑んで見守る中、両者のベーが投げ入れられる。ソウタは床の左側から角をつける。一方、タイキローは中央付近で待ちベーだ。予選ではこの待ちベーでガンガン弾き飛ばしたのだ。しかし、これがソウタには通じなかった。角をつけたソウタベーが、タイキローベーのケツを下から弾き、一発で飛ばしたのだ。勝負あり。終わってみればソウタの圧勝だった。加工も上手なのだろう。バランスの取れたソウタベーで、确实無比の床入力で、隙のないソウタ。永世オープン、おめでとうございます。

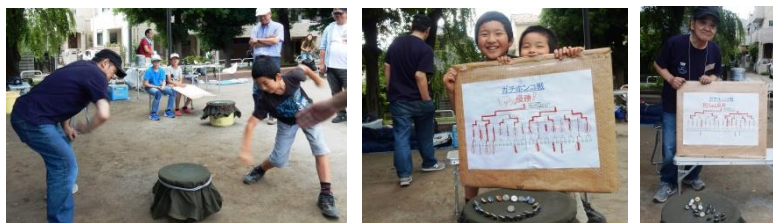


子ども王はそなっち2年振り2回目

父平井、しゅう、そなっちの三人が決勝トーナメントに進出した平井一家。その中でそなっちがシュガー、ハルクを破り、ベスト4に進出し、子ども王を獲得した。準決勝でタイキローからも1本取っているので、タイトルまであと一歩のところだったのだ。強くなったね。

ガチホンはしゅう君と松ちゃん

しゅう君が奥田パパ、カイヤ、たけひろ、松ちゃんを破り、去年の10月に続き2度目の優勝だ。そなっちが子ども王で、しゅう君が全部取り、持ってくるねえ平井家は。2度目は松ちゃんが、もんこ、小出っち、シュガー、たけひろを総なめ、先月に続いての全部取りだ。ギャオじいにガラベを注意され、直したのが結果よかったかな。



バロンドールはマックスが1位を堅持

優勝こそないが、常に決勝トーナメント上位に食い込むマックスが+3でトップを譲らず、2位には今期2勝目で+5のソウタが浮上した。3位には+2の小出っち、4位は同じく+2のハルクだ。前回2位の松ちゃんは予選落ちで5位に後退、今回準優勝のタイキローが+4で同じく5位にラックアップした。前半を終了し、トップと5位の差が僅かに5ポイントなので、当面混戦が続くのではないだろうか。



② (め) 名人ハルク オープンソウタ やたらに強い ヤスジ

③ (ま) 迎ってくる チャンプがきつと 風の吹きよと この俺にて 鉄人